

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

備前化成株式会社 三澤 嘉久

5月22日に開催されます総会后に、以下2演題の講演が行われます。

「冷凍解凍による魚油、脂質の状態変化」 東京海洋大学 鈴木徹先生

「近大マグロの歴史と現状および課題について」 近畿大学水産研究所 升間主計先生

両講演とも興味深い内容となっています。オンラインでも参加可能ですので、会員企業で参加申込がまだの方は、申込をお願いします。

マグロは、近大マグロを代表に完全養殖が商業化の流れになっていますが、ウナギは、まだ完全養殖商業化の研究開発の途中です。ウナギの完全養殖の研究は、日本で活発に行われており、以下プレスリリースされています。

・2010年4月 水産総合研究所「世界初の「ウナギの完全養殖」、ついに成功！～天然資源に依存しないウナギの生産に道を開く～」
(<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr22/2204082/>)

・2010年7月、「ウナギ完全養殖達成」として上記内容の報告の詳細が記載
(<https://www.fra.affrc.go.jp/bulletin/news/fnews23.pdf>)

・2022年4月 水産総合研究所「新たに開発した乾燥飼料でニホンウナギ仔魚をシラスウナギまで育成することに成功」
(<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2021/20220214/20220214press.pdf>)

・2023年10月、近畿大学「ニホンウナギの完全養殖に大学として初めて成功 養殖用種苗(稚魚)としての実用化をめざし、今後さらに研究を継続」
(<https://www.kindai.ac.jp/news-pr/news-release/2023/10/040446.html>)

ウナギの完全養殖の商業化への課題の一つに、ウナギ仔魚の餌の開発があります。資料によりますと、水産総合研究所で、1996年にウナギ仔魚がサメ卵を食べることの発見をきっかけに、餌の開発が進み、2010年4月の完全養殖、2022年4月の乾燥飼料での育成の成功し、2023年10月の近畿大学での成功に繋がっております。サメ卵ということで、DHA、EPAがウナギ仔魚餌の必須栄養成分なのではと想像しています。

今後、研究開発が更に進展し、ウナギの完全養殖が商業化となり、完全養殖のウナギの蒲焼を食べることができるようになることを期待します。

《幹事会のうごき》 令和6年4月12日(金)に本年度第1回幹事会を(一財)日本水産油脂協会1階会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・総会講演会における各講師の演題が報告された。また、ご講演頂く順番について検討した。
- ・秋に開催される公開講演会の講師が正式に決まった。また、全体テーマを「生体ではたらく DHA・EPAー筋肉・腎臓・脳」とすることにした。
- ・第27回通常総会資料について、最終確認が行われた。

《2024年3月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2024年3月			2024年1月～3月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,540	571,090	370.8	3,285	1,308,421	398.2

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2024年3月	2024年2月	2023年3月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	5,000	5,020	4,070

<情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2024年第17週	2024年第16週	2024年第17週までの累計	2023年第17週までの累計
チリ	38,352	41,948	774,221	898,405
ペルー	355,046	322,346	797,432	576,384

ペルーのアンチョビー漁が、4月16日より漁獲枠247万5千トンで解禁された。